

### 総会

TNVN代表からの挨拶で始まりました。  
議長を渡辺紀子氏(まちだ地域国際交流協会)にお願いし議事に入りました。

①2014年度活動報告 ②2014年度会計報告 ③2015年度役員の選出 ④2015年度活動計画案 ⑤2015年度予算案等の報告が担当役員からあり、出席者全員の賛成で承認されました。

尚①③は事前に会員メンバーに郵送し④⑤は会場で配布しました。

2015年度役員は、再任されました。

2015年度のTNVN活動計画は、例年通りニュースレターの発行に注力し、日本語ボランティア活動に関する情報発信、HPでの教室紹介、相談窓口を継続していきます。

2011年度から開催している「わかる日本語」研究会で検討してきた成果を『わかる日本語 作成のための「手引き」』として冊子を作成し助成金で発行します。

### 講演会

講師に増田麻美子氏(文化庁文化教育部国語課 国語教育専門職)をお招きし、文化庁の日本語教育施策等について分かりやすく丁寧に講演をして戴きました。内容は次の頁をご覧ください。

### 情報・意見交換会

区部15名、市部11名、都外近県2名が参加、出席者からの情報提供でスタートしました。

**\*「やさしい日本語」について多くの情報提供がありました。**

- やさしい日本語で“防災を知ろう”のパンフレットを作成する作業を、学生、学習者、消防署などと共同で進めている。
- やさしい日本語を使って地域の外国人と交流活動をしている。
- 防災訓練で、日本語での説明が難しかった。  
Ex. ブロックべい、ビニールシート
- 新聞3日分の掲載記事の中からカタカナ語を

リストアップ、あまりの多さにビックリ、特に文化・スポーツ欄が非常に多い。

- 行政でも「やさしい日本語」「わかる日本語」が浸透してきた。
- 交通機関で「不通」の意味が外国人に「普通」と解釈され混乱した。
- 難しくても覚えなければならない言葉もある。
- 警察でも「やさしい日本語」を使うようにすると外国人への対応もやさしくなるのでは。並進してはいけない→並んで進んではいけない 外登を見せろ→外人登録証を見せろ など 一般の人が使わないことばは使用しない。
- 日常使用する専門用語を少なくする事は出来ないか。
- 外国にルーツを持つ子どもたちを理解してもらうために、某市の警察で行ったワークショップで「更生させなければならない対象とのみ思っていた。子どもたちを理解していなかった。」と言われた。

#### \*教室の確保が最優先

- 一番困っている。切実な問題。
- 20年前から場所の状況は変わっていない。
- 安定的に借りられるための働きかけ方は?
- 老人人口増大でどこかの行政も、生き生き老後の支援に力を入れている。ボランティアとして活用する場として会場が借りられるよう、行政に働きかけられないか。

(教室確保の問題は長年続けて出されるが解決される状況にはない。いろいろな工夫が必要。)

#### \*ほかに意見も

- 国は日本語ボランティアをどのように位置づけているのか。
- 多文化共生施策の中で地域の日本語ボランティア活動をどう考えているのか。

#### \*最後に

活発な発言が続き、予定の時間を大幅に過ぎました。今後、情報・意見交換の場を設けますので出席して下さい。

# TNVN 第22回総会が開かれました

2015年4月26日(日)社会福祉法人さぼると21の会議室をお借りして開催しました。出席者は正会員21団体(23名)、委任状49団体で正会員数83団体の半数以上となり総会が成立、賛助会員1団体、協力会員5名も参加しました。総会に引き続き講演会と情報・意見交換会があり、盛会でした。



### Ⅲ.「生活者としての外国人」に対する日本語教育

#### 【目的】

言語・文化の相互尊重を前提としながら、日本語で意思疎通を図り生活できるようになること

#### 【目標】

日本語を使って、●健康かつ安全に、自立した生活を送ること  
●自立した生活を送ることができるようにすること ●相互理解を図り、社会の一員として生活を送ることができるようにすること  
●文化的な生活を送ることができるようにすること

#### 【内容】

「生活者としての外国人」には、生活場面と密着したコミュニケーション活動ができるようになるための日本語能力が求められる。来日間もない外国人が基本的な生活上の基盤を形成するために必要なもの及び安全に関わり緊急性があるものとして、「生活上の行為の事例」を8つ示した。①健康・安全に暮らす、②住居を確保・維持する、③消費活動を行う、④目的地に移動する、⑤人とかかわる、⑥社会の一員となる、⑦自身を豊かにする、⑧情報を収集・発信する。

### Ⅳ.カリキュラム案5点セットとは

この目的・目標に沿って、(1)カリキュラム案(2)ガイドブック(3)教材例集(4)日本語能力評価(5)指導力評価の5冊がまとめられた。これらは、必ずしも全てそのまま使うのではなく、必要な部分を選び出し、さらに工夫を加えるなど、地域の状況に合わせて活用いただくことを想定して作成されている。まずは、5点セットを分かりやすくまとめた「ハンドブック」を御覧いただきたい。

### Ⅴ.小委員会における現在の審議状況について

今後の具体的な施策の方向性や、日本語教育の推進方策を議論していく際の主な検討材料として論点を11に整理。現在、「論点7.日本語教育のボランティアについて」、「論点8.日本語教育に関する調査研究の体制について」検討を行っている。

### Ⅵ.日本語教育コンテンツ共有化推進事業(NEWS)

全国で作成された日本語学習教材、絵カード、報告書、団体・人材情報などの日本語教育に関するコンテンツを集めたWEBサイトを運用している。是非活用いただきたい。

(<http://www.nihongo-ews.jp/>)

### Ⅶ.文化庁日本語教育大会の開催

「日本語教育大会」を8月29日(土)、30日(日)に昭和女子大学で開催予定。30日の分科会ではカリキュラム案について意見交換を行う予定なので、是非御参加いただきたい。

問合せ先

文化庁文化部国語課 日本語教育専門職

電話：03-5253-4111 (内線 2644)

メール：nihongo@bunka.go.jp

# 「生活者としての外国人」のための日本語教育

## —文化庁施策説明—

TNNV第22回総会(4月26日)に於いて、文化庁文化部国語課日本語教育専門職 増田麻美子さんに講演していただきました。明快平易なご説明に、文化庁施策がよくわかりました。以下、ご講演の概略です。

### I.国内の日本語学習者数等の推移

国内の在留外国人は平成26年末で約212万人(人口の約1.7%)。日本語学習者は約16万人(平成25年)で、中華人民共和国6万5千人を筆頭に、ベトナム、大韓民国、ネパールと続く。近年ベトナム、ネパールの学習者が増加。多様な文化背景を持つ外国人住民が各地域で暮らしているなか、文化庁ではコミュニケーションの手段、文化発信の基盤としての日本語教育の推進を図るため、以下様々な取組を行っている。

### Ⅱ.文化審議会国語分科会日本語教育小委員会

(以下、小委員会とする。)

平成19年7月、定住外国人の増加を受け、文化審議会国語分科会に日本語教育小委員会が設置され、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の内容・方法の充実に向けて計画的に検討・取りまとめを行っている。

平成21年1月には、報告書「日本語教育の充実に向けた体制整備と「生活者としての外国人」に対する日本語教育の内容等の検討」において、①体制整備—国・都道府県・市町村の役割分担②各機関の連携協力の在り方③コーディネート機関・人材の必要性④日本語教育の内容の大枠の4点について取りまとめた。この④に基づき、「「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について」等の5点セットが作成された。

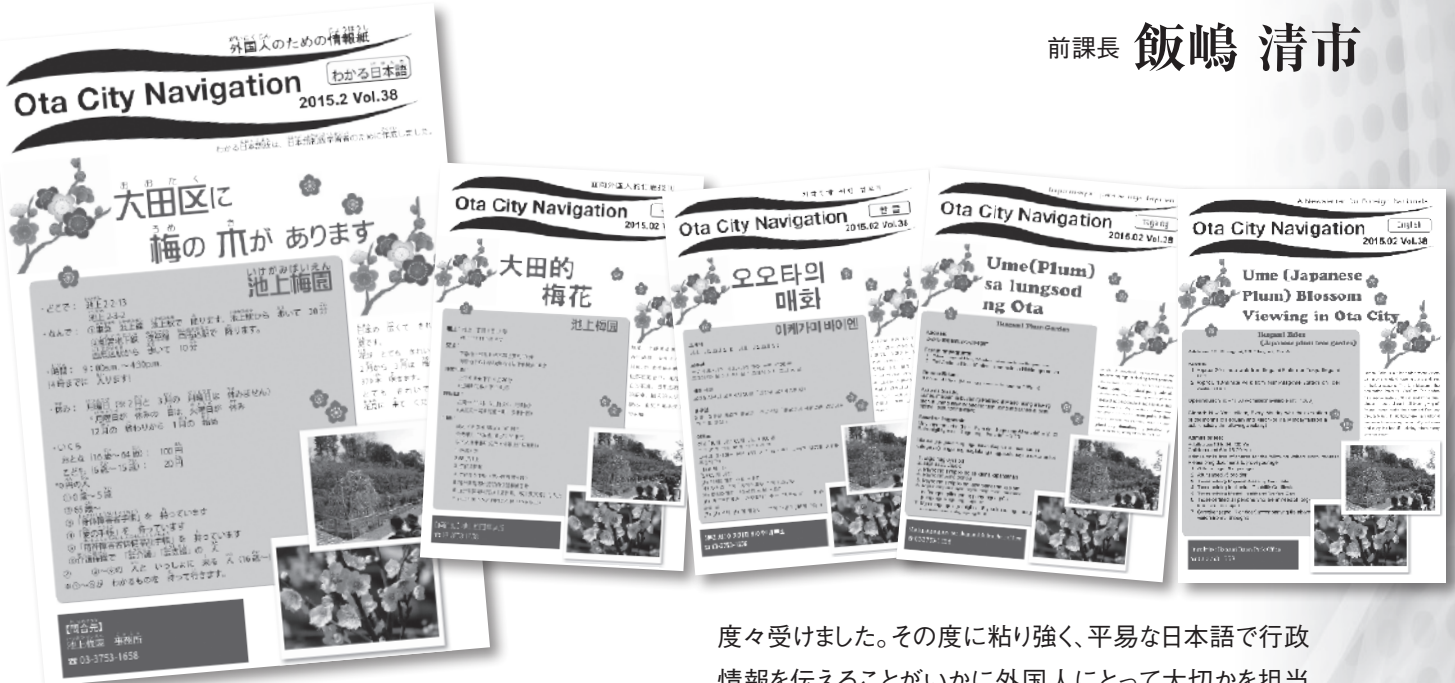


寄稿

# Ota City Navigation (わかる日本語版)について

大田区観光・国際都市部国際都市・多文化共生推進課

前課長 飯嶋 清市



当区では、外国人のための情報紙「Ota CityNavigation」を年10回・42,500部、英語・中国語・ハングル・タガログ語・日本語の5か国語で発行し、区内各所で配布しています。平成25年度までの日本語版は、漢字にルビを振ったものでしたが「大田区多文化共生推進協議会」報告書において「区は、より平易な表現や行政用語の言い換えなどによって、外国人を含む誰もが理解できる文章で情報提供をすべき」との提言がなされました。これを受け区では、平成26年度からルビ付き日本語版を、「わかる日本語」版に「翻訳」して発行することとしました。

「わかる日本語」版は、表現を日本語能力試験のレベル認定N5程度に合わせ、区内で日本語ボランティアをしている方々に作成していただいています。N5は基本的な日本語をある程度理解することができるレベルのため、行政からのお知らせ文章も、いきおい簡略化し、わかりやすい表現に編集し直さざるを得ません。そのため当初は関係部局から、「そのような端折った文章では誤解を与えかねない。」とか、「どうしてもそのような表現を使うなら、お知らせそのものの掲載を見合わせたい。」といったクレームを担当者は

度々受けました。その度に粘り強く、平易な日本語で行政情報を伝えることがいかに外国人にとって大切かを担当者から関係者に訴えてきたため、現在では区内での多文化共生への理解も大分深まっています。

この「わかる日本語」版の発行によって、当区に在住する約2万人、119か国の外国人住民の方々への情報提供量は飛躍的に増大したのではないかと自負しています。ご興味のある方は、大田区ホームページ<http://www.city.ota.tokyo.jp/>からPDF版がダウンロードできますので、ご一読いただければ幸いです。

## ※大田区多文化共生推進協議会

区が目指す「国際都市おおた」にふさわしい多文化共生のまちづくりを進めるため、区が抱える課題をリアルタイムかつ具体的に協議する場として設置。外国人区民を含む協議会の委員は2年を任期として選出され、協議の結果は区長に報告し提言も行う。

**おおたくからのお知らせ**

**大田区からののお知らせ**

**「保育ママ」の 2015年4月1日からの 利用 申し込み**

「保育ママ」は 何ですか？  
家族が 仕事で 忙しいです。 子どもの 世話を することが できません。  
あなたの 子どもの 世話を します。 どこで: 「保育ママ」の 家

●だれ:  
1. 大田区に 住んでいます  
2. 1か月に 48時間より 多く 働きます。  
・これから 働きます。  
3. 子どもが 2013年4月2日～2015年2月18日に

あなたの 子どもの 世話を します。 新しい 保育所 (ほいくしょ) です。

●だれ:  
1. 大田区に 住んでいます。  
2. 子ども (1歳～3歳)  
※2012年4月2日～2014年4月1日に 生まれました。

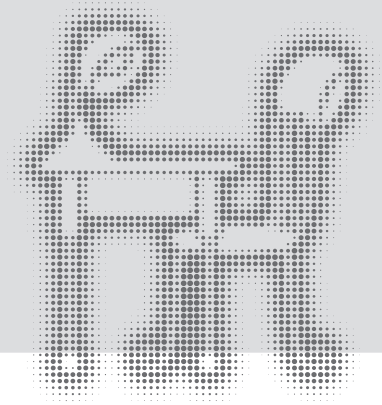
●申込み: 2015年2月23日～27日  
「問合先」へ 行きます。

問合先

保育サービス課第一ビブス推進担当  
☎ 03-5744-1277 FAX 03-5744-1525

# 「わかる日本語」に リライトしました

## 研究会での演習から…3



研究会は東京都国際交流委員会のHPに掲載されている「外国人のための生活ガイド」の日本語(原文)を「わかる日本語」にリライトする検討をして来ました。結果は上記HPの「やさしい日本語」

欄[\*1]に掲載されています。現在、この成果を整理して冊子『「わかる日本語」作成のための「手引き」』として発行する作業を進めています。この冊子は情報発信をする際に難しい日本語をやさしくて分かり易い日本語文に

リライトする時の参考にして貰える内容を目指しています。今回は「リライトの目安」[\*2]をベースに原文を「わかる日本語」にリライトする時の「ポイント・アドバイス」について検討をしています。その文例を紹介します。

### 原文

(1)引越などで電気、ガス、水道を新たに使う場合や使用を止めるときは連絡が必要です。(2)電話やインターネットで東京電力、東京ガス、水道局営業所に問い合わせてください。  
(3)電気代とガス代は毎月、上下水道代は2か月ごとに請

求書が届きます。(4)代金は銀行や郵便局、コンビニエンスストアで支払えるので、決められた日までに払ってください。(5)便利な口座振替も利用すれば、払い忘れの心配がありません。(6)また、クレジットカードでも支払うことができます。

### リライト文

はじめて 使う 時、電話・インターネットで 言います。  
もう 使わない 時、電話・インターネットで 言います。  
電気：東京電力  
ガス：東京ガス  
水道：水道局営業所  
• 電気とガスは毎月、水道は2か月に1回  
請求書がきます。

\*請求書：払う お金は いくらですか、いつまでですか  
わかる紙  
• お金を 銀行・郵便局・コンビニで 払います。  
カードも「口座振替」も 大丈夫です。  
\*口座振替：あなたの 銀行・郵便局の お金から  
払います。

### ポイント・アドバイス

- ① (1)「電気・ガス・水道の開始時とやめる時の手順の2つの文に分かり易く箇条書きにします。
- ② (2)は(1)の「電気、ガス、水道」と対比し連絡先を箇条書きにします。
- ③ 日常生活で使う言葉にします  
新たに→はじめて、  
連絡が必要です→連絡します→言います  
支払う・払う→払う  
上下水道→水道 届きます→きます  
代金→お金
- ④ 問い合わせてください → 言います  
《動詞の活用形「～て」は初級学習者にはわかりにくいので避けて、「～します」に替えます》
- ⑤ (4)支払えるので、～払ってください。 → 払います。
- ⑥ 「～の心配が有りません」と(6)「支払うことが出来ます」は簡単に「大丈夫」とします。
- ⑦ 2か月ごとに→2か月に1回  
《数字を使うとわかりやすくなります》
- ⑧ 「請求書」「口座振替」は覚えて欲しい言葉で、書き換えが困難な言葉です。  
辞書として説明文を書き加えます。
- ⑨ カタカナの外来語はできるだけ避けるが、書き換えができない場合は使います。  
インターネット、コンビニ、カード

[\*1] [http://www.tokyo-icc.jp/guide\\_easy/index.html](http://www.tokyo-icc.jp/guide_easy/index.html)

[\*2] 「わかる日本語」研究会 報告 2012年7月 P-4～P-5 参照



# 学習者の「日本語の習い方」 を見つめるボランティア

日本語教師 金子 広幸

2014年6月の号で、『私は「日本語の習い方」をご紹介します』、2015年3月の号で『日本語の道』というテーマで2編書きました。

その主旨は以下のようなものです。

- ボランティアの皆さんは、「学習者が自分で習得していくことをサポート」する立場なので、日本語教師と同じことをする必要はない。学習者もそのほうが都合がよい。学習者が順調に「配列された文法」を学習しているときには、「傍観者」であってもいい。
- 学習者が具体的な場面でどんな日本語の問題にぶつかっているかわかったら、スマートに「伴走者」になれたらいい。

この2文は各方面で大きな反響があり、続きを書くよう要望がありました。この場を借りて読者の皆さんに御礼を申し上げます。

今号では、ボランティアが「良き伴走者」になるためにはどうしたらいいかということ、日本語教師である私の立場から述べたいと思います。

まず、何と言っても、「よく学習者と対話すること」だと思います。私も日本語教師の自戒として、しゃべりすぎないようにしています。クラスの準備をしているときにも、学習者のふだんの発言・様子や背景を考えて、「みんなは何て言ってくれるかな？」と想像しつつ、例文を整えたり、絵を描いたりしています。

そして、今後学習者が興味を持つであろう対象や将来の生活の情景も想像できたらいいと考えています。近年は個人情報保護という観点から配慮しなければならないのに、初級の初めのほうのクラスではまるで尋問のように「昨日どこへ行きましたか」「誰と行きましたか」「何をしましたか」と聞くことになってしまい、片腹痛く思います。でも、やはり、教師、ボランティアの皆さんも、自分の胸を開いて、人間同士の付き合いができるといいですね。その点、教師は友達になりすぎるとだめですが、ボランティアの皆さんにはその側面はありません。「信頼できる隣人」であっていいのですから。

実は、具体的な日本語の問題よりも、「自分のことを聞いてもらいたい」、「周囲の社会とうまくやっていくためにどうしたらいいのか一緒に考えてもらいたい」と思っている学習者は

多いのです。そこには日本語教師の出番はありません。私は以前留学生の相談に乗る仕事をしていたことがありますが、クラスの中で見せてくれる顔と、悩みを持ちこんでくるときの顔が違って見え、とても同一人物には思えませんでした。ボランティアの皆さんにはそんな部分を受け止める力量も必要です。人生経験が物を言ってくれることでしょう。

次は、教師にも求められることです。学習者と対話をして、だいたいこの人がどのくらいの日本語のやり取りができるか、また、どんな問題・課題を抱えているかを観察することです。ただ、これは、日本語教師でなくても、日本語を使って生活しているボランティアの皆さんなら、語の使い方についても、発音や文字の書き方についても、観察していればある程度はわかります。「どうしてそうなるのか」という疑問は日本語の専門家や日本語教師に聞いてください。

そして、次は、いよいよ「継続を維持」する方策なのですが。これは次号以降にいたします。

あくまでも心理的な立ち位置ですが、教師が「机を挟んで向かい合っている」ということなら、ボランティアの皆さんは「座っている横にいて、同じ方向を向いている」という姿勢が理想的だと思います。

そして、信頼し合えて、お互い学び合えばいいと、最高ですね。

■授業の中休みにラジオ体操をしています

## 千駄ヶ谷日本語の会 (渋谷区)

代表／前田 セツ

千駄ヶ谷日本語の会は毎週火曜日午前10時から12時まで、千駄ヶ谷駅から徒歩5分にある千駄ヶ谷社会教育会館で活動をしています。日本語を学びたい方はいつでもどのレベルでも受け入れています。

1991年から教師養成学校で知り合った仲間を始めました。皆、日本語指導の他、仕事や海外在住など経験豊富です。授業はほぼマンツーマンなので細かく学習者のニーズに対応しています。文型学習から日本語能力試験対策、新聞記事の読解と幅広いです。時にはテキストではなく学校のお知らせ、ママ友からのメールも教材になり、相談

や情報交換など気軽に話し合うこともあります。

授業の中休みにラジオ体操をしています。気分転換の他に、号令の日本語も役に立ちます。自己紹介や近況報告などのグループ学習もします。年末年始には、日本文化紹介のお楽しみ会をしたり、社教館祭りでスピーチを行い、来場者と交流しています。

小さい教室ですが、ここで学んだ方は220名余り、出身国は50か国以上になります。韓国、フランス、アメリカが多く30～25人、そして中国系20人が上位です。年齢も10代から70代まであり、学習期間は短い方もあれば、現在8年になる長い方もいます。一度帰国し



てまた来る方もいます。便りをいただいたり、音信が途絶えても東日本大地震のときは、お見舞いメールがありました。帰国後まとめた日本滞在経験の動画に教室を紹介してくれる方もいました。

千駄ヶ谷日本語の会は、学習者からここに来て良かったとの声が励みになり、長年続けてきました。今後もがんばっていきたいです。

連絡先／徳尾 喜久子

090-3599-5789

ktokuo@jcom.home.ne.jp

### 会員団体紹介

## Nice to Meet You

IAF日本語教室は毎週水曜日の夜間、JR田町駅近くの港区の新施設「みなとパーク芝浦」内にある「男女平等参画センターリーブラ」で活動しています。平日の夜の教室ということで仕事を終えてから勉強に励む方も多く、みなさんの頑張りには本当に頭が下がります。一方、仕事が忙しくなったり、予定が入ってしまい毎週来られなくなる方も。現在ボランティア講師が3名で、レベル別の少人数グループレッスン形式で随時学習者を受け入れておりますが、学習ペースやレベルが合わなくなってしまう方がたびたび発生してしまうのが悩みです。

場所柄様々な国の方々のお問合せや見学は多いのですが、みなさんのご希望に応えきれず残念な気持ちになるこ

### nice to meet you

■和気藹々とした雰囲気楽しく学習

## IAF日本語教室 (港区)

吉本 恭子



とも多々あります。ボランティアを増やそうと試みていますが、毎週平日の夜に確実に来られる方を探すのもなかなか難しいと感じています。

とはいえ、毎週教室はやってきます。学習者もボランティアも忙しくとも集まった貴重な時間を有意義にし、和気藹々とした雰囲気楽しく学習を続けられるようにすることが大切だと感じています。今の時代、語学学習はネットやスマホでもできてしまいますし、実際活用している方も多いと思います。でもわざ



わざ時間を割いて教室で顔を合わせて学習するメリットは何なのでしょう。それを提供するのがボランティア日本語教室の役割だと思っています。

先日長く教室に通ってくれていたタイ人女性が出産されたので、クラスメートのみなさんと一緒に日本語でお祝いのカードを作成しました。日本語教室を通じて出会った世界中のみなさんとの繋がりをこれからもさらに長く繋げていけるように活動していきたいと思っています。



## 学習者の声

# 「新春の集い」の感想

顧美(コミ)／中国  
まちだ地域国際交流協会(MIFA)／町田市

MIFA土曜日クラスの学習者 顧美です。1月24日に「新春の集い」が開かれて、学習者のお国の自慢料理と日本のおいしい料理を作り、楽しい一日を過ごしました。朝、学習者と支援者たちは早い時間に調理室に来ていただき、楽しく料理の準備もしたりお互いに手伝ったりお国の料理の作り方なども聞いたりして本当に面白かったです。今回、私と主人は春巻きを作りました。支援者と学習者に協力いただき、うまく出来上がり、嬉しかったです。作り方など聞かれた時、うまく説明できないところがありますが、支援者に日本語を教えていただき、説明できることになりました。いい勉強になりました。

会長のご挨拶よりパーティが始まりました。食卓に日本、中国、韓国、台湾、タイなどの料理が並んでいて、皆さんは料理を食べながら、「美味しい、うまい」という声をよく聞き、

本当に大満足でした。今回、料理だけ食べるわけではなく、たくさんの支援者と学習者との交流も出来、各国の文化なども勉強出来ました。本当にごちそうさまでした。

今回、「新春の集い」をきっかけにいい交流が出来て、MIFAの皆さまに本当に心より感謝いたします。どうもありがとうございました。今後ともどうぞ宜しくお願いします。

(MIFAニュース1・2月号に寄稿された「新春の集い」の感想文を転載させていただきました)



## ボランティアの声

まちだ地域国際交流協会(MIFA)／町田市

# 長尾 勝人 広州留東同学会のことなど

昨年1月の朝日新聞の記事——中国南部広州からの日本人留学経験者が集まる会が100周年を迎え、祝賀会が開かれると聞き、12月下旬に祝賀会場を訪れた記者が記した特派員メモを読んで更なる感動と共感に酔いしれ、共に学ぶ喜びを享受した。

ところでこの日本留学経験者の集いは、1914年にできた「広州留東同学会」。日中戦争や文化大革命といった歴史の波に呑まれ、活動を停止した時期もあったが、途切れることは無かったようだ。会員は約130人と多くはない。

今は日本より欧米を重視される時代でもある。後に続く学生のために相談会を開いたり、日本語教師を研修旅行に派遣したりして、文化を知ってもらう活動を続けているとのこと。

「ご多分に漏れず、尖閣問題以降は中断しているイベントもあるが、それでも参加者からは、政治、経済の面では力は及ばなくても、日本を理解している私たちだからこそ、周りに伝えられることがある」「留学者数に比べて会員が少なすぎる。もっと活動をひろげよう」と

いう嬉しい声も上がったとか。

「華夏扶桑近隣 何時花卉春暖」(中国と日本は隣同士。いつか春の花が)こんな詩をよむ人もいた。内閣府の調査では、中国への親しみを感じない割合は83%。でもその国はこんな人たちもいる。

話しは変わりますが、今年の箱根駅伝で青山学院大学が東京一箱根間をトップで駆け抜けてから数か月、苦学人だが明るい監督原さん、快挙、箱根駅伝で同大を初の総合優勝に導いた。マラソンで思い出すのは中国の杭州市の西湖を回るマラソン大会に加わった時、大勢の大学、高校生の日本語ボランティアに囲まれて楽しく会話しながら走った喜び。



# 日本語ボランティアの現場から

### ◎2015年度役員・スタッフ・運営委員

- 代表 梶村 勝利(早稲田奉仕園日本語ボランティアの会・新宿区)  
 事務局長 林川 玲子(ビバ日本語教室・港区)  
 会計 矢崎 理恵(社会福祉法人 さぼと21・品川区)  
 会計 山本 英子(小平日本語ボランティアの会・小平市)  
 会計監査 嶋田 信子(本所賀川記念館日本語教室・墨田区)  
 スタッフ 岡田 美奈子(やさしい日本語・江東区)  
 大木 千冬(町田日本語の会・町田市)  
 小川 伶子(初歩日本語・練馬区)  
 床呂 英一(まちだ地域国際交流協会・町田市)  
 鶴田 環恵(ニュースレターレイアウト・在宅)  
 大滝 敦史(ホームページ管理・在宅)  
 運営委員 武貞 明子(東久留米にほんごクラス・東久留米市)  
 坂本 弘一(かけはし・足立区)  
 渡辺 紀子(まちだ地域国際交流協会・町田市)  
 山田 泉(法政大学キャリアデザイン学部)  
 田中 卓(八王子国際友好クラブ)

### ◆TNVN第22回総会・ 情報交換会に出席した団体

やさしい日本語(江東)／グッドナイト日本語(江東)／NPO法人IWC国際市民の会(品川)／社会福祉法人 さぼと21(品川)／スペース・アイ(渋谷)／早稲田奉仕園日本語ボランティアの会(新宿)／日本語学習すぎなみの会(杉並)／本所賀川記念館日本語教室(墨田)／日本語サークル「わかば」(世田谷)／初歩日本語(練馬)／光が丘やさしい日本語(練馬)／ビバ日本語教室(港)／にほんごの会くれよん(目黒)／小平日本語ボランティアの会(小平)／八王子国際友好クラブ 日本語グループ(八王子)／日本語ボランティア翼の会(羽村)／府中国際交流サロン(府中)／まちだ地域国際交流協会(町田)／町田日本語の会(町田)／武蔵村山日本語の会(武蔵村山)



TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワークはボランティア日本語学習支援活動を行っている団体のネットワークです。TNVN の会員はそれぞれ地域での日本語学習支援活動を通して、言葉のため日常生活に不自由を感じている外国人などを、隣人として支援しています。TNVN は会員への情報提供・会員相互の情報交換、および外部との情報受発信を行い、活動の活性化を図ります。

### 東京日本語ボランティア・ ネットワーク事務局の活動

- ◆日時：毎週金曜日午後2時～4時  
第5金曜日／休み
- ◆場所  
東京ボランティア・市民活動センター  
JR、地下鉄(東西線・有楽町線・南北線・大江戸線—出口 B2b) 飯田橋駅下車 セントラルプラザビル 10F ロビー
- ◆日本語ボランティア相談窓口  
日本語ボランティアの活動についてのご相談・ご質問にベテランスタッフが応えています。メール・電話でご確認の上、気軽にお越し下さい。また、メールでのお問い合わせにもお応えています。ご意見もお待ちしております。  
〒162-0823  
東京都新宿区神楽河岸 1-1  
東京ボランティア・市民活動センター  
メールボックス No.4
- ◆TEL：03-3235-1171  
(呼出：金曜日活動時間帯のみ)
- ◆FAX：03-3235-0050
- ◆E-mail：webadmin@tnvn.jp
- ◆URL：http://www.tnvn.jp/
- ◆郵便局払込  
口座番号：00100-1-719259  
加入者名：東京日本語ボランティア・ネットワーク
- ◆新会員紹介  
正会員 地球家族(板橋区)  
JCA千歳船橋(世田谷区)
- ◆会員数(2015年5月23日現在)  
正会員 85団体  
個人協力会員 16名  
団体協力会員 1団体  
賛助会員 4団体
- ◆編集／大木千冬、岡田美奈子、小川伶子、梶村勝利、床呂英一、林川玲子、山本英子
- ◆レイアウト／鶴田 環恵

### ◎2015年度TNVNスタッフの活動計画

2014年度と同様、下記の活動を進めて行きます。

- ① ニュースレター(TNVN Network News)の発行  
各地域で活動している団体・教室の様子やご意見・ご提案を掲載していきます。投稿をお待ちしています。
- ② TNVNホームページの公開  
活動内容が変更されましたら訂正をしますのでTNVN事務局宛に連絡下さい。
- ③ 事務局での相談・情報交換
- ④ 地域での日本語ボランティア講習会への協力(出前講習会)
- ⑤ 「わかる日本語」研究会  
冊子『「わかる日本語」作成のための「手引き」』の発行に向けて作業をしています。
- ⑥ 東京都国際交流委員会・国際交流・協力TOKYO連絡会、その他関係機関・団体との連携・協力の連携・協力



### column 国立市の「やさしい日本語」講演会について

2月15日に国立市公民館で「やさしい日本語」についての講演会があった。講師は庵功雄先生、志村ゆかり先生である。

TAMA 日本語共育ネットは隔月開催の例会を国立市公民館で実施している。会のイベントとして両先生のお話をお聞きしたいということになった時、国立市公民館から国立市の会員に「市民にも聞かせたいので公民館主催にしてほしい。講師謝礼を負担する。TAMAネット会員用枠として20名分は確保する」と申入れがあり受けた。公民館の配慮に感謝したい。

庵先生は先生の著書の「にほんごこれだけ!」について説明された。「従来の日本語教科書は文型を重視していたが、この本は語彙を重視している。語彙を理解している方が実際に活用度が高い」と。私には新しい発見である。

志村先生はいくつかのグループで国立市の市報を使って「やさしい日本語」に書き直すものだった。市報をやさしくする上でプラスになるであろう。

資料に配られた「くにたち生活防災マップ」も素晴らしい。一時集合場所、広域避難場所、避難所については色分けされている。また英語とやさしい日本語で説明されている。説明については医療施設、災害用井戸なども同様である。民、官、学の共同作業ではなかろうか。

(床呂 英一)